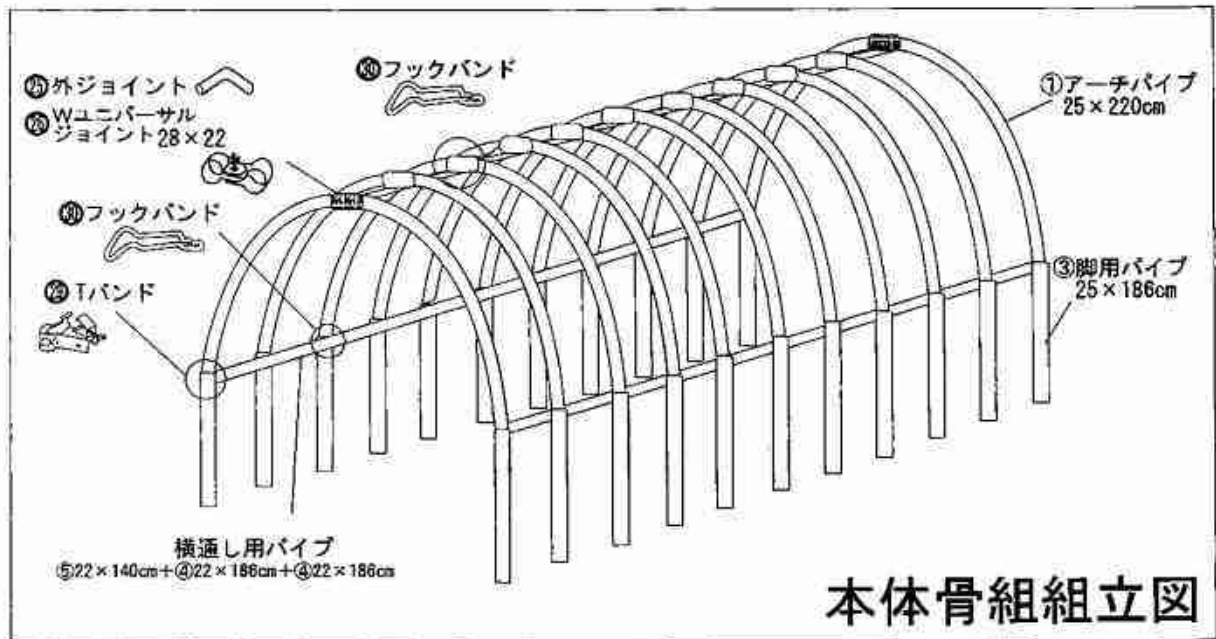


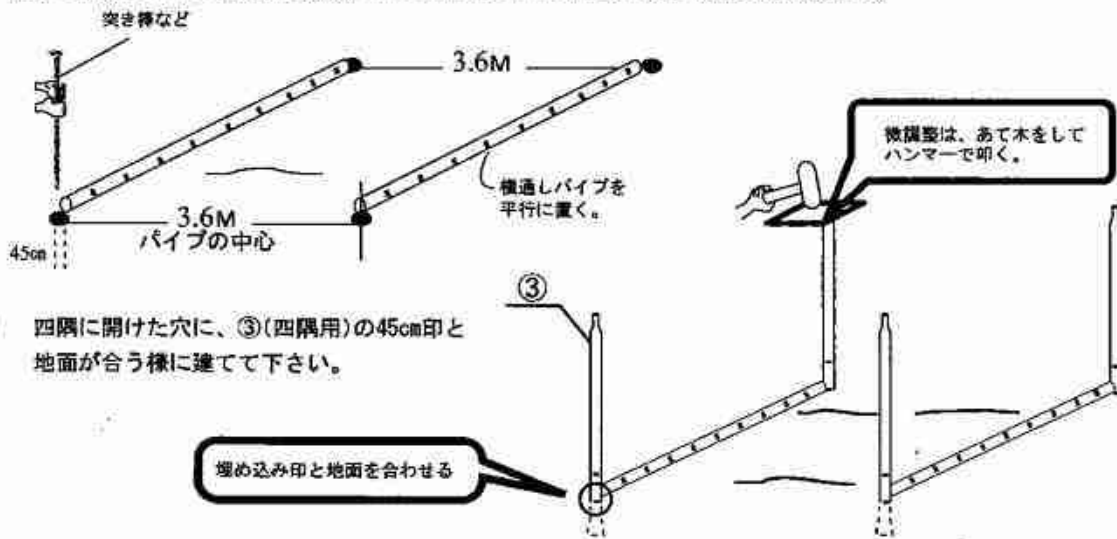
No.	品名	規格	数量	形状	No.	品名	規格	数量	形状
A 梱包					D 梱包				
①	アーチパイプ	25×220A mm cm	22		②②	天ビニール	0.1×5.4×9.0 mm m m	1	
②	カラー番線	#8×12 mm m	1		②③	側ビニール	0.1×1.85×20 mm m m	1	
B 梱包					E 梱包				
③	脚パイプ	25×186SP mm cm	22		②④	扉ビニール	0.1×2.0×1.3 mm m m	1	
C 梱包					E 梱包				
④	横通しパイプ	22×186S mm cm	6		②⑤	外ジョイント	28×18cm	11	
⑤	横通しパイプ	22×140 mm cm	3		②⑥	ユニバーサルジョイント	28×22	2	 28×22刻印
⑥	前横パイプ	25×180SP mm cm	4		②⑦	ユニバーサルジョイント	28×25	1	 28×25刻印
⑦	前横パイプ	25×100 mm cm	2		②⑧	ユニバーサルジョイント	25×25	6	 25×25刻印
⑧	前横パイプ	25×74 mm cm	2		②⑨	Tバンド	25×22	4	
⑨	戸受けパイプ	22×120 mm cm	1		③⑩	フックバンド	28×22 25×22 兼用	27	
⑩	ビニバー(前上)	142 cm	2		③⑪	要金具	25mm用	16	
⑪	ビニバー(前中/前下)	114 cm	4		③⑫	ビニバー継手		4	
⑫	後横パイプ	25×180SP mm cm	3		③⑬	クロスワン	25×22	2	
⑬	後横パイプ	25×115 mm cm	1		③⑭	パイプ止金具	25用	17	
⑭	後横パイプ	25×87 mm cm	2		③⑮	パッカー	25mm用	8	
⑮	ビニバー(下)	188 cm	1		③⑯	パッカー	22mm用	20	
⑯	ビニバー(後共通)	160 cm	3		③⑰	Rバンド	150m	1	
⑰	ビニバー(後上)	123 cm	1		③⑱	ターンパックル	3/8×20 cm	2	
⑱	扉パイプ	19×100 mm cm	4		③⑲	ラセン杭	小	10	
⑲	扉パイプ	19×180 mm cm	2		④⑰	ドア蝶番	25×19	2	
⑳	スプリング	180 cm	12		④⑱	掛金		1	
㉑	ロングパッカー	19×180 mm cm	4		④⑲	ボルトナット	M5×25	8	
㉒	ビニバー(後中)	180 cm	1		④⑲	スパナ		1	
					④⑳	水糸	約100m	1	
					④㉑	スポンジテープ	4.5×10 cm cm	16	



まず、本体骨組みを組立てます。

脚用パイプを建てる

- (1) 継いだ横通しパイプを3.6m間隔(パイプ中心)に平行に置き、四隅に約45cmの穴を掘る。

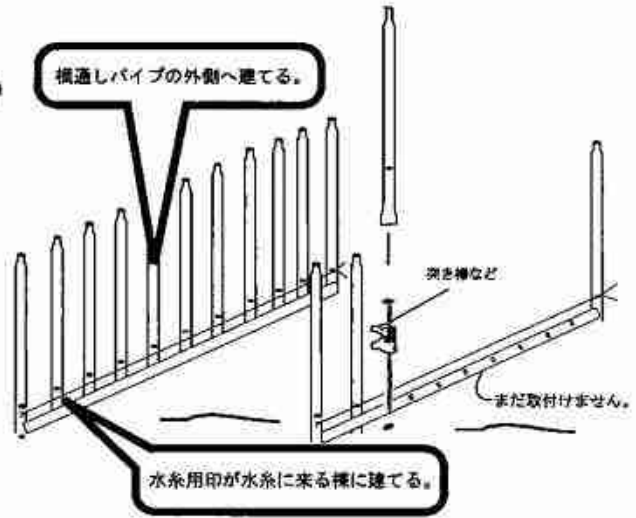
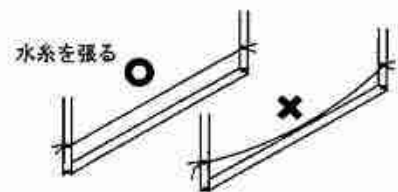


- (2) 四隅に開けた穴に、③(四隅用)の45cm印と地面が合う様に建てて下さい。

埋め込み印と地面を合わせる

Eケース ④ 水系 1個

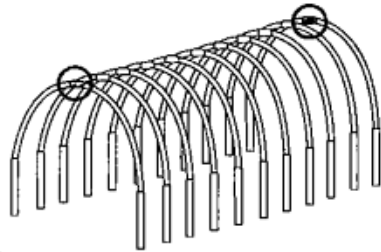
- (3) 四隅に建てた③のパイプに付けた印(水系用55cm)に、④を結び付け、張る。
 (4) 横通しパイプに付けた印(50cm間隔)の位置に約45cm穴を掘る。
 (5) 残りの③のパイプを建てる。
 (張った水系と、③のパイプの水系用印(55cm)が、合うように建てる。



横通しパイプを本体内側に取り付ける。

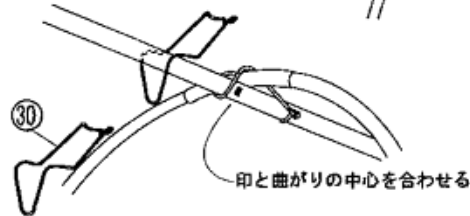
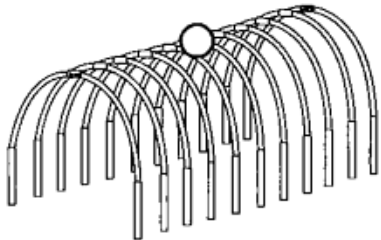
(1) 図の順番に横通しパイプを取り付けて下さい。

前後2箇所に取り付けて下さい。



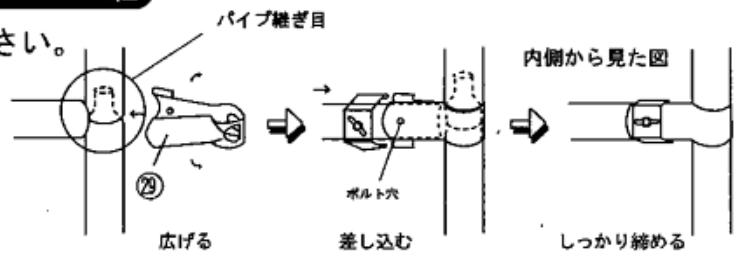
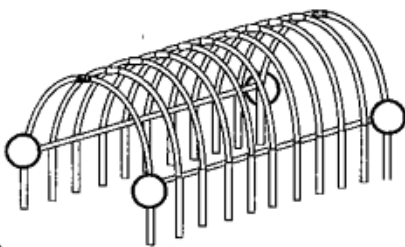
Eケース ③① フックバンド 9個

中9箇所に取り付けて下さい。



Eケース ②⑨ Tバンド 4組

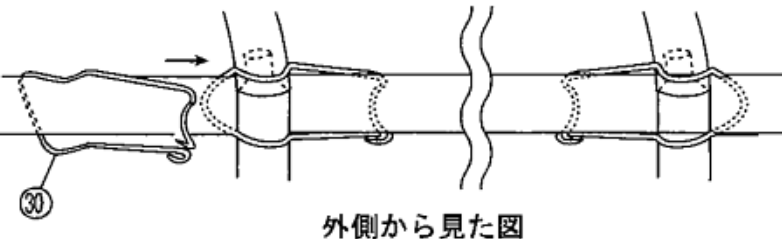
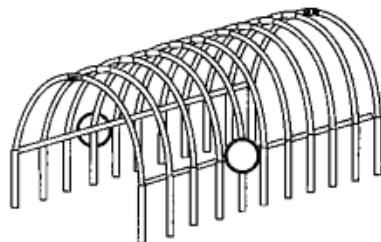
前後左右4箇所に取り付けて下さい。



ネジ突起部は、内側へ。

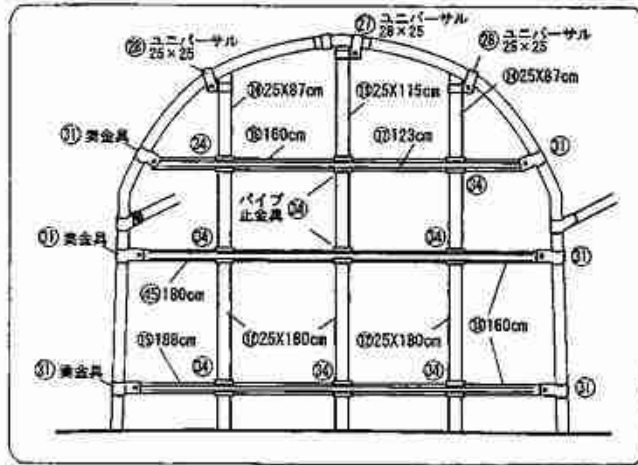
Eケース ③① フックバンド 18個

左右中18箇所に取り付けて下さい。



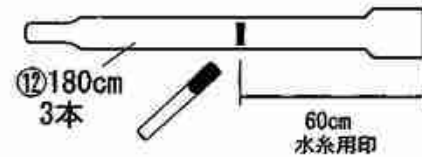
本体骨組完成

後部パイプ組み立て(出入り口ではありません。)

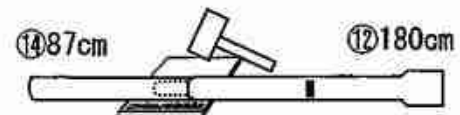


Cケース	⑫	25×180cm	3本
Cケース	⑬	25×115cm	1本
Cケース	⑭	25×87cm	2本
Eケース	⑳	ユニバーサルジョイント28×25	1組
Eケース	㉑	ユニバーサルジョイント25×25	2組

(1) ⑫ 後用パイプに、印を付けて下さい。



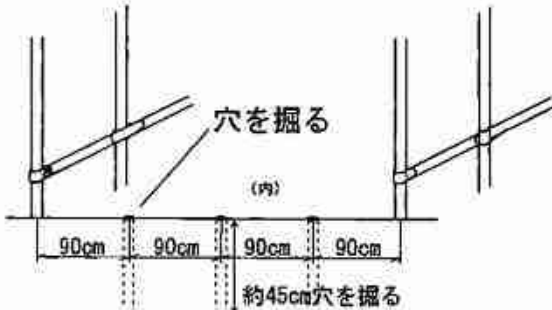
2ヶ所均等につぶす 1組作る



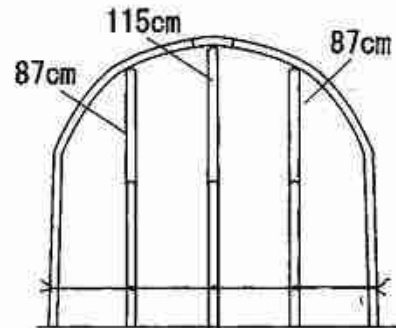
2組作る

※継ぎ目をしっかり差し込み、中心を抜けない程度につぶす。その時、下に固いものを敷く。

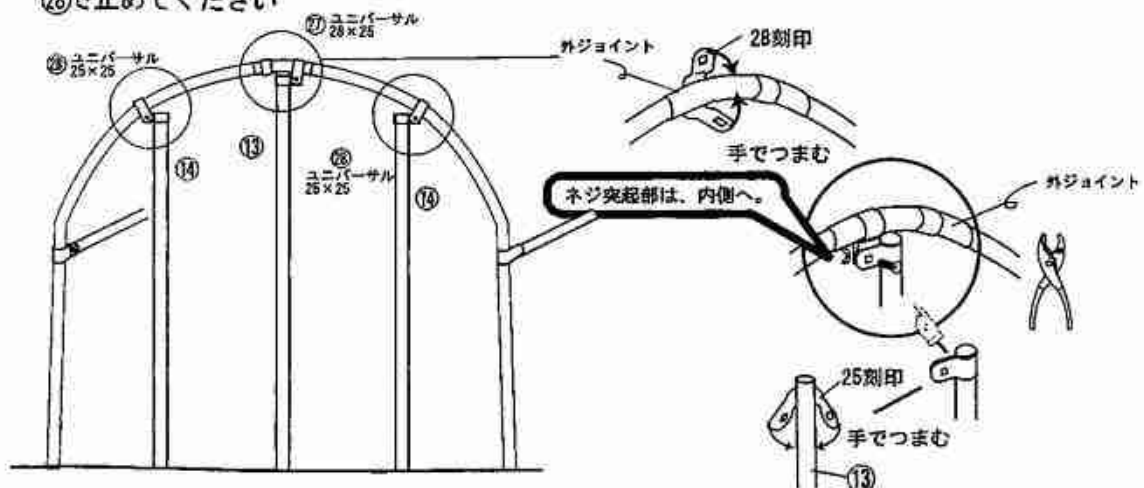
(2) 間口の中心に、約45cm穴を掘る。



(3) 間口両端脚パイプの水系用印に水系を張り、⑫の印が合う様に建てて下さい。

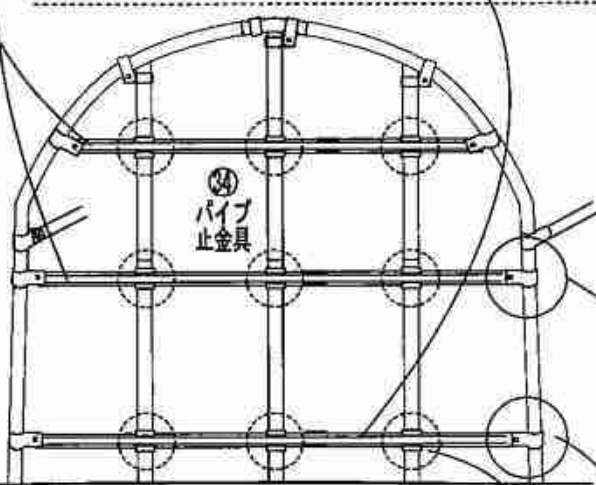
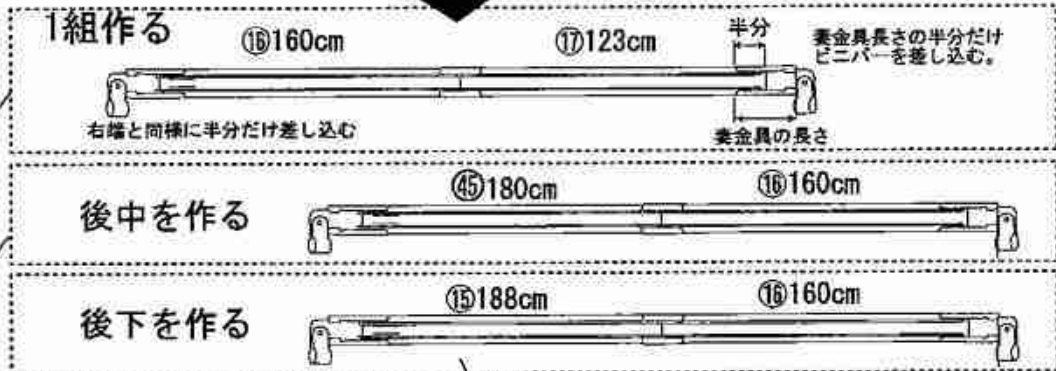
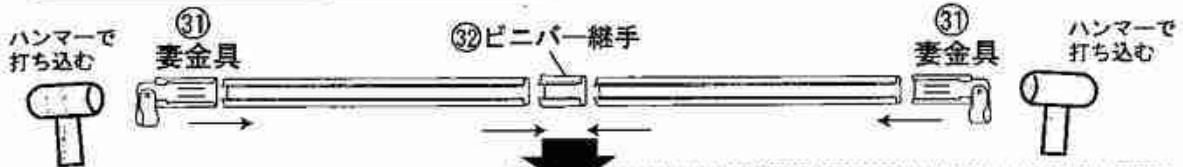


(5) 天井外ジョイントの部分に㉑を取り付けて、⑬を止めて下さい。次にアーチパイプと⑭パイプを㉒で止めてください

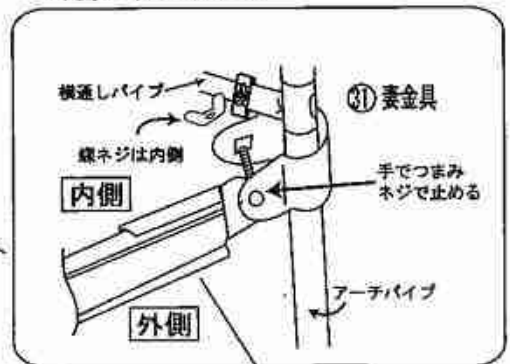


後部パイプ組み立て(出入り口ではありません。)つづき

Cケース ⑮	ビニパー	188cm	1本	Eケース ⑳	妻金具	6個
Cケース ⑯	ビニパー	160cm	3本	Eケース ㉑	ビニパー継手	3個
Cケース ⑰	ビニパー	123cm	1本	Eケース ㉒	パイプ止金具	9個
Cケース ⑱	ビニパー	180cm	1本			

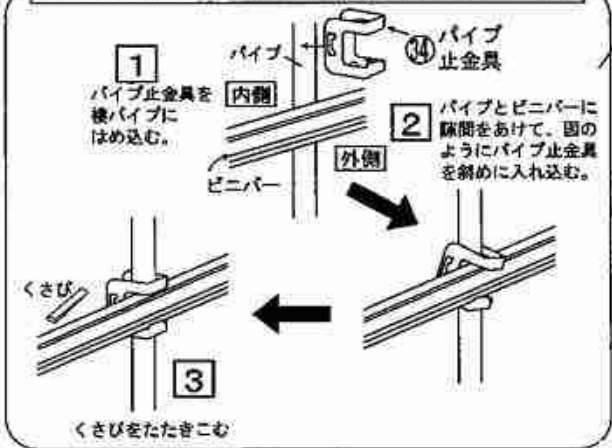


間口中心に建ててあるパイプの外側に取り付ける。

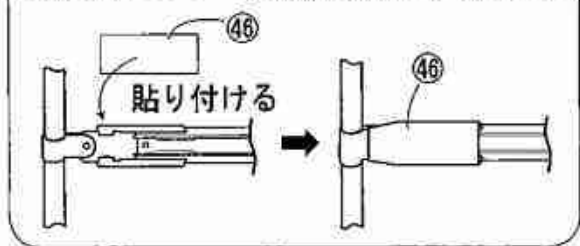


組み立てたビニパーが長いまたは短い場合は妻金具の差込み具合で調節してください。

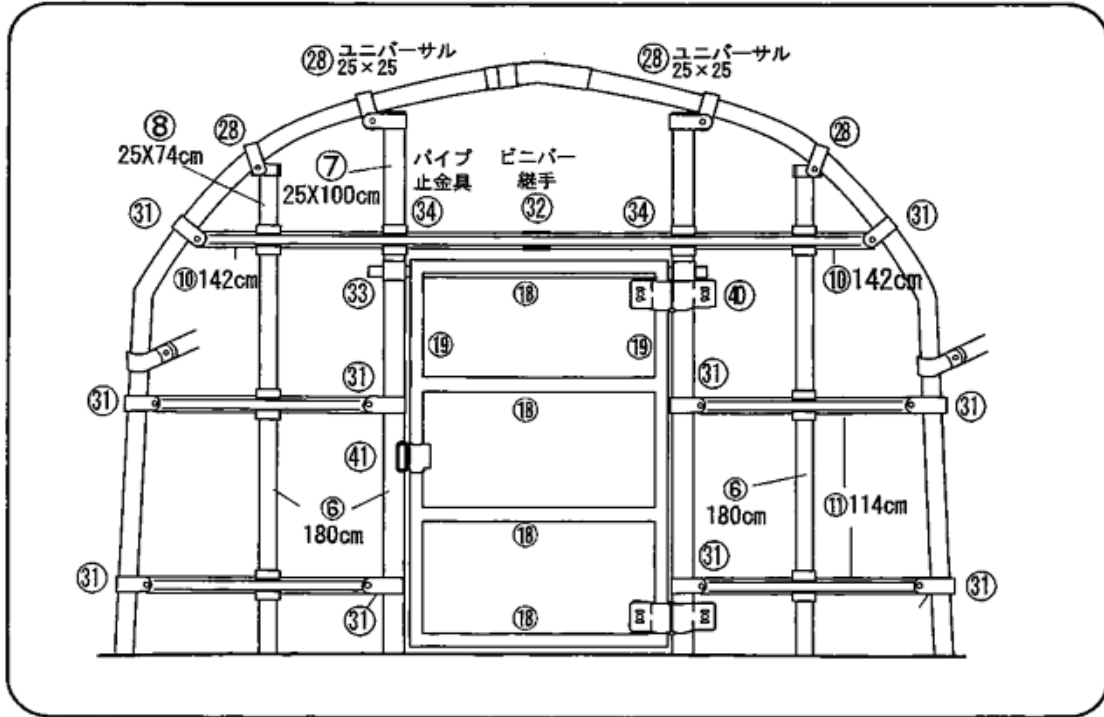
パイプとビニパーが交差するところの止め方



㉔ スポンジテープを貼り付けてください



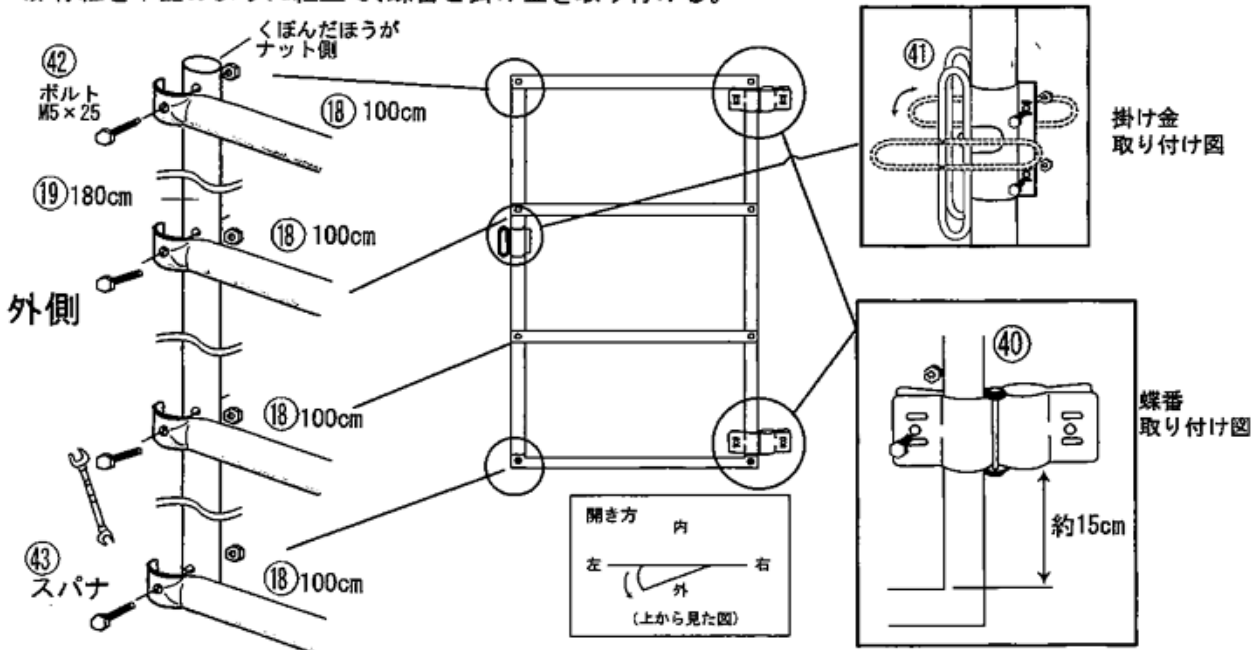
前パイプ組み立て(出入り口)



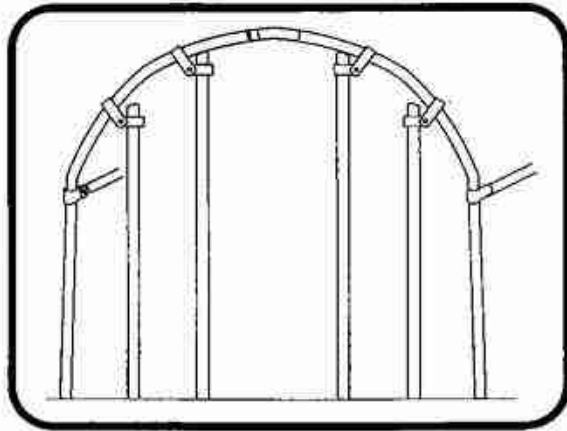
扉を組み立てる。

Cケース ⑱	19×100cm	4本	Eケース ④②	ボルト・ナット	各8個
Cケース ⑲	19×180cm	2本	Eケース ④①	掛金	1個
Eケース ④③	スパナ	1個	Eケース ④④	ドア蝶番	2個

扉骨組を下図のように組立て、蝶番と掛け金を取り付ける。



前パイプ組み立て(出入り口) つづき



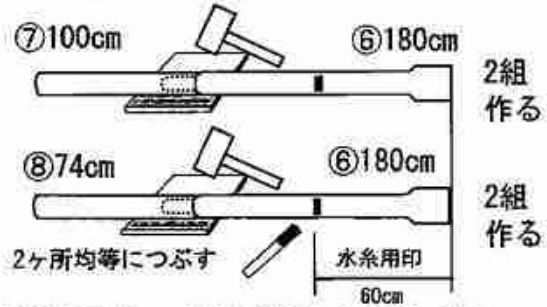
⑫ で組立てた 扉

Cケース ⑥ 25×180cm 4本

Cケース ⑦ 25×100cm 2本

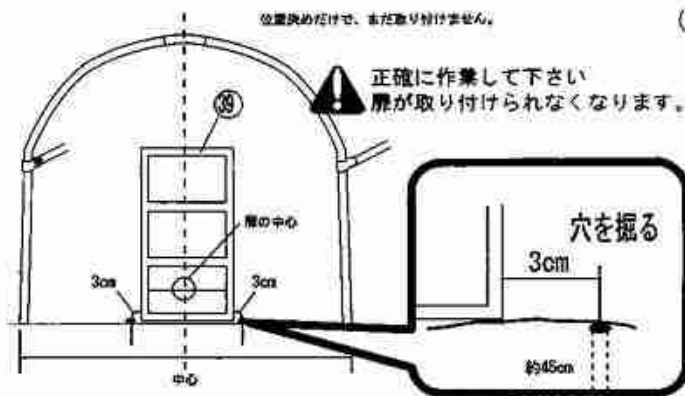
Cケース ⑧ 25×74cm 2本

(1) ⑥に、印を付けて⑦⑧と継いで下さい。

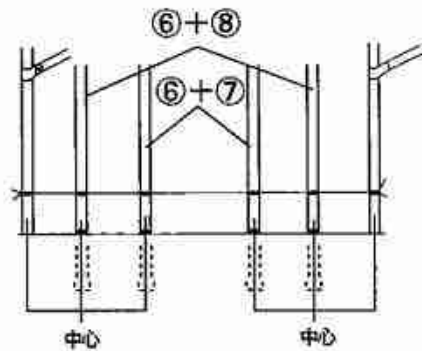


※継ぎ目をしっかり差し込み、中心を抜けない程度につぶす。その時、下に固いものを敷く。

(2) 間口と扉の中心を合わせて、扉の両端より左右3cmの位置に約45cm穴を掘る。



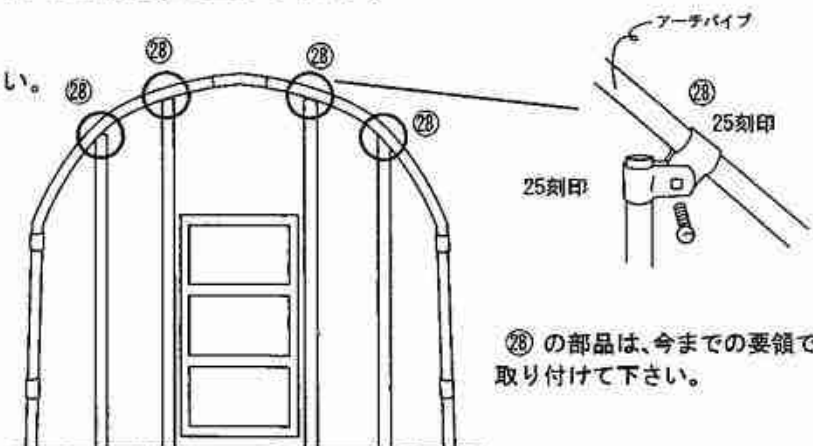
(3) 間口両端脚パイプの水系用印に水系を張り、⑥の印が合う様に建てて下さい。



Eケース ⑳ ユニバーサルジョイント 25×25 4組

⑦⑧の先端部とアーチパイプの接点を⑳で止めて下さい。

⚠ 扉との間隔を確認しながら止めて下さい。



前後パイプ組み立て(出入り口) つづき

Cケース ⑩ ビニパー 142cm 2本

Eケース ③① 妻金具 10個

Cケース ⑪ ビニパー 114cm 4本

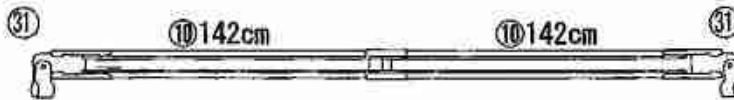
Eケース ③② ビニパー継手 1個

Cケース ⑨ 22×120cm 1本

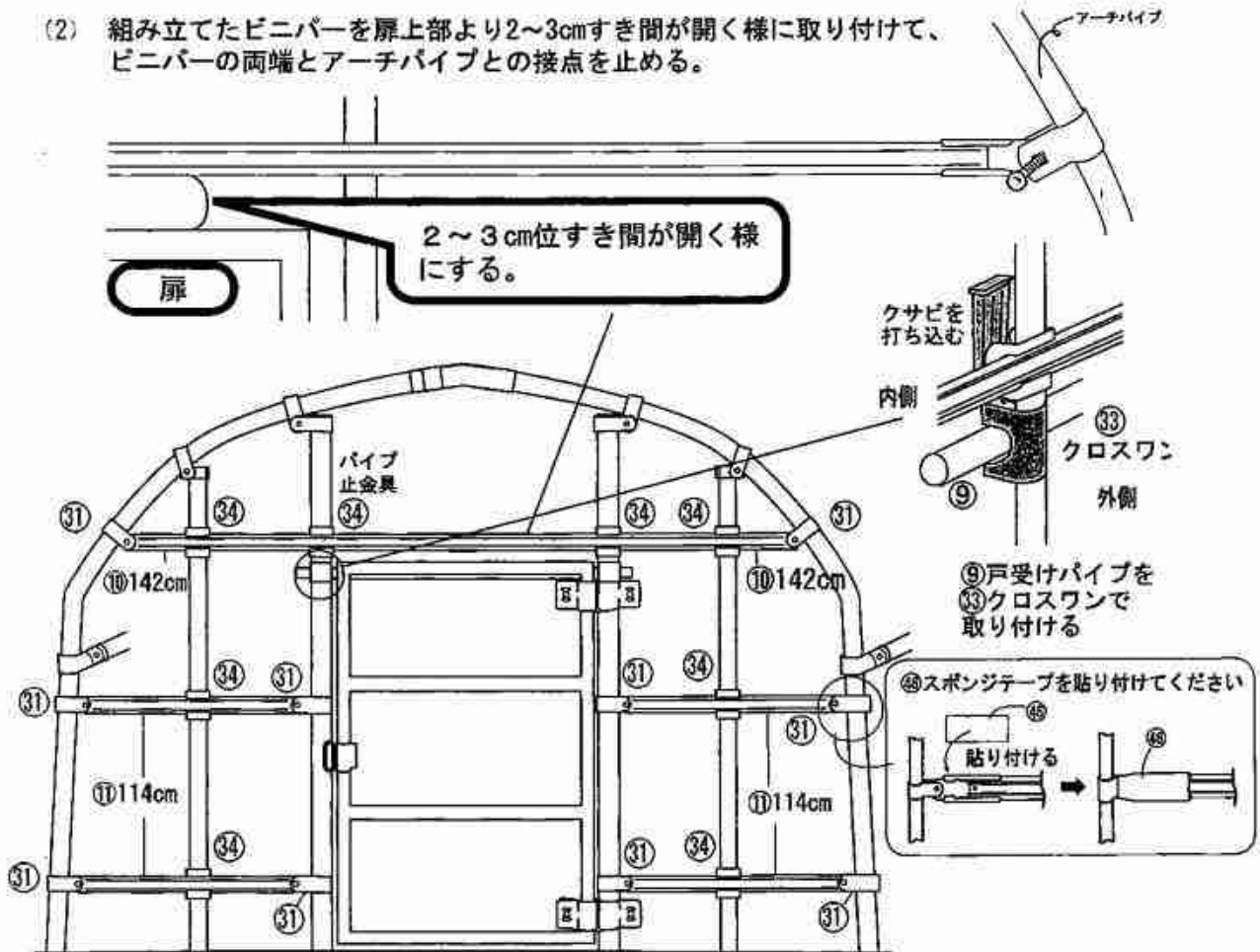
Eケース ③③ クロスワン 2個

Eケース ③④ パイプ止金具 8個

- (1) 今までの要領で下図のようにビニパーを組み立てる。



- (2) 組み立てたビニパーを扉上部より2~3cmすき間が開く様に取り付けて、ビニパーの両端とアーチパイプとの接点を止める。



- (3) ⑪114cmに 妻金具を取り付け、上図のように取り付けてください。

- (4) ③④パイプ止金具を今までの要領で取り付けてください。



妻金具長さの半分だけ
ビニパーを差し込む。

- (5) ⑨戸受けパイプをクロスワンを使い上図のように取り付けてください。

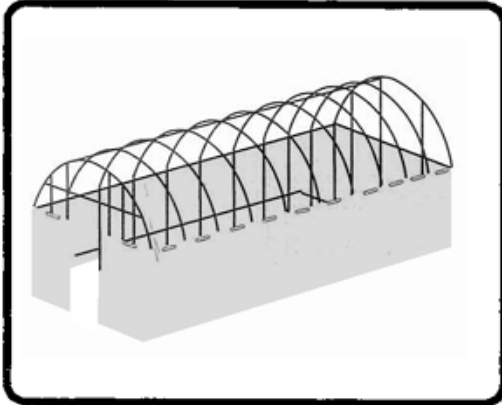
ビニールを張る。

Dケース ②③

側ビニール

Eケース ③⑤ パッカー22用 20本

Eケース ③⑤ パッカー25用 8本



完成予定図



作業する前に、周辺を整理してビニールが傷つかない様に注意して下さい。



ビニールを引っ張る際は、傷つきやすいので引きずらない様にして下さい。



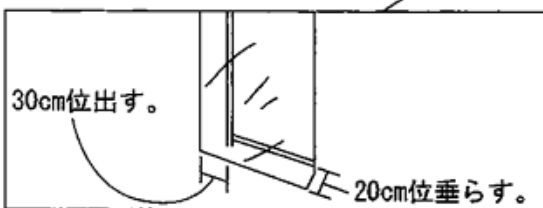
③⑤は1回で取り付ける様に止めて下さい。
(何回もやり直すとビニールが破けます。)

ビニール全体を均一な力で引っ張りながら、各パイプの間の横通しパイプにパッカーで取り付ける。

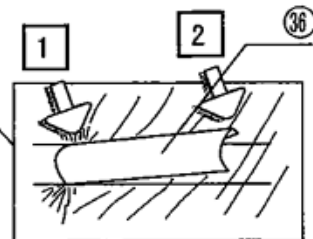
③⑤
パッカー
25用



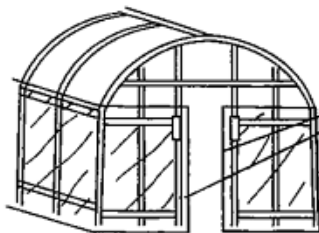
前は全てをはめずに、
片方だけ差し込み、
仮止めにする。



20cm位垂らす。

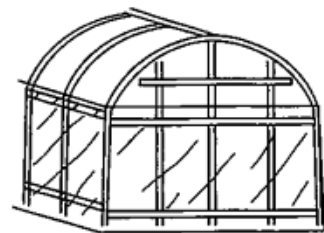


横通しパイプに、斜めに差し込む



前 (仮止め)

約15cm残り切り取る



後

天ビニールを被せる。

Cケース

20

スプリング

Dケース

22

天ビニール



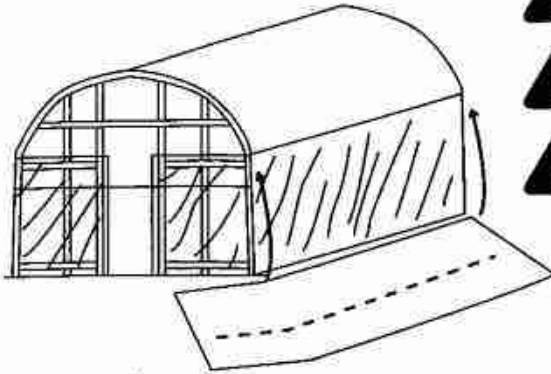
作業する前に、周辺を整理してビニールが傷つかない様に注意して下さい。



ビニールを引っ張る際は、傷つきやすいので引きずらない様にして下さい。

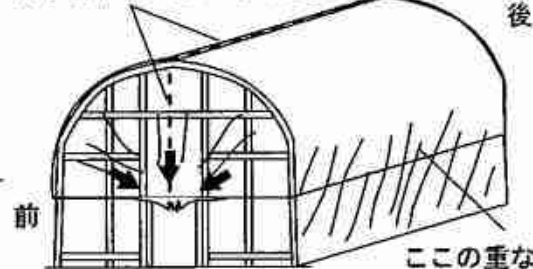


風の強いときは、思わぬ力で引っぱられますので作業しないで下さい。



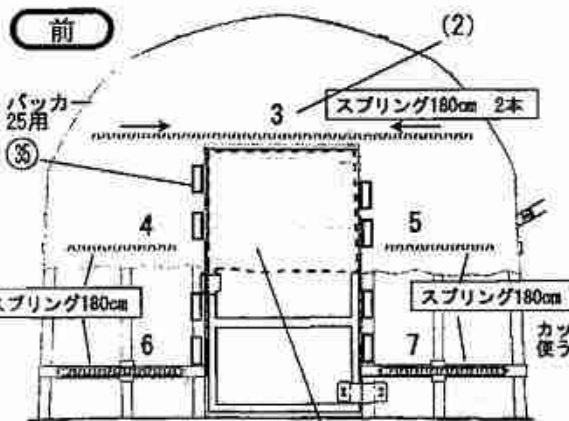
文字が正しく読める方が表です。

文字を中心を持ってくる。

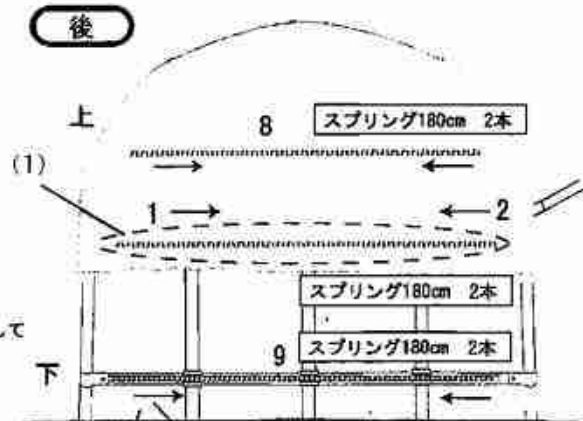


前後からビニールがピンと張るように引っ張りながら中心によせる。

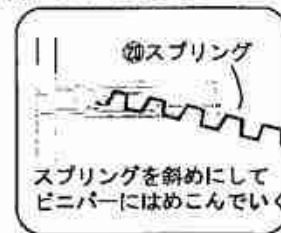
この重なり部分を左右同じにする。



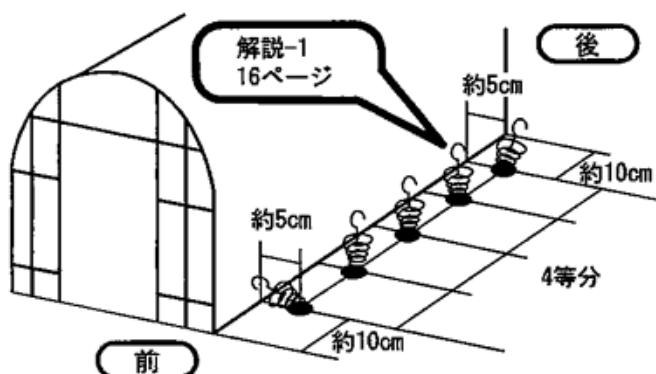
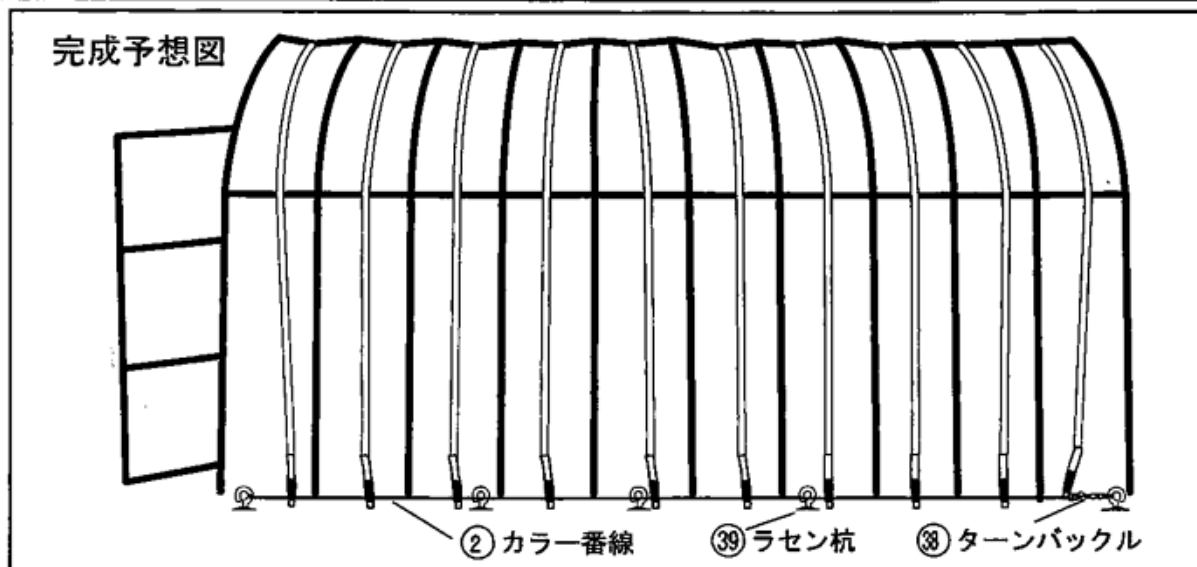
(5) 切り取る。



- (1) 前後左右のかさなり部分を確認しながら、後の点線部分を天ビニールと側ビニールを一緒に⑳で止めて下さい。
- (2) 前の方に天ビニールをピンと張りながら、前の方を数字の順番に止めて下さい。
- (3) 後の方の上ビニパー、下ビニパーとビニールを数字の順番に止めて下さい。
- (4) 前図の位置にパッカーでビニールを止めてください。(8箇所)
- (5) 前の扉部は、15cm位残して切り取って下さい。
※前後の天ビニール下端部は、特にそのままでも構いませんが、切り取られる際はケガ・切りすぎ等に注意して下さい。



ラセン杭をねじ込む。



- Eケース ③⑨ ラセン杭 10本
- Eケース ③⑧ ターンバックル 2本
- Aケース ② カラー番線

先ず片方の説明をしますので(1)～(6)まで終わりましたら同じ要領で反対側も作業して下さい。

- (1) ラセン杭を、上図の位置にねじり込んで下さい。(解説-1 16ページ)
- (2) 端のラセン杭に、②カラー番線を引っかけてしっかり止めて下さい。



折り返し等を長めに取ると、もう片方の長さが不足になりますので注意して下さい。



- (3) 番線の中側のラセン杭に通して下さい。

